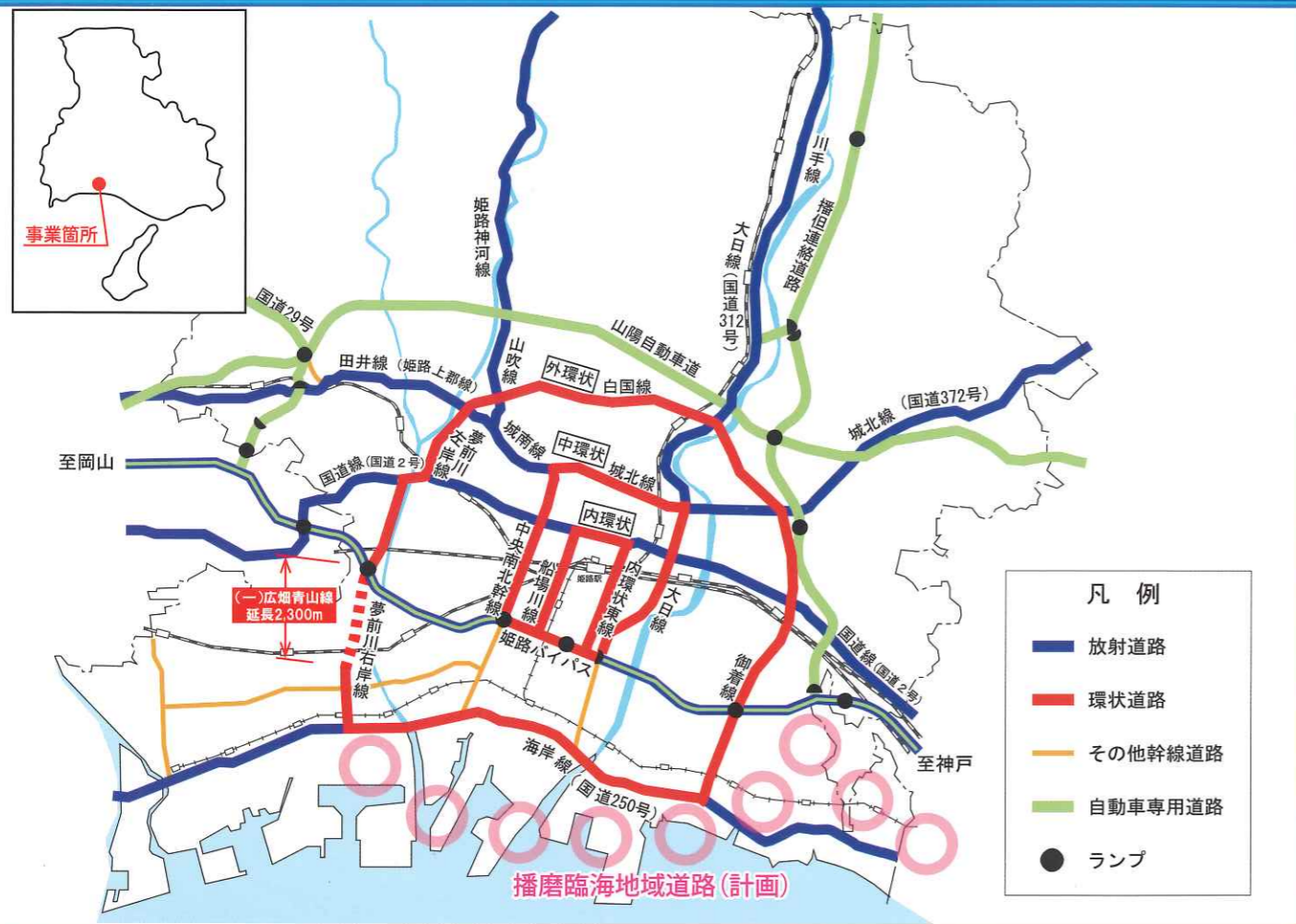


一般県道広畑青山線

安全で円滑な道路環境を実現！

播磨臨海部と姫路バイパスを南北に直結する幹線道路

姫路市幹線道路網計画

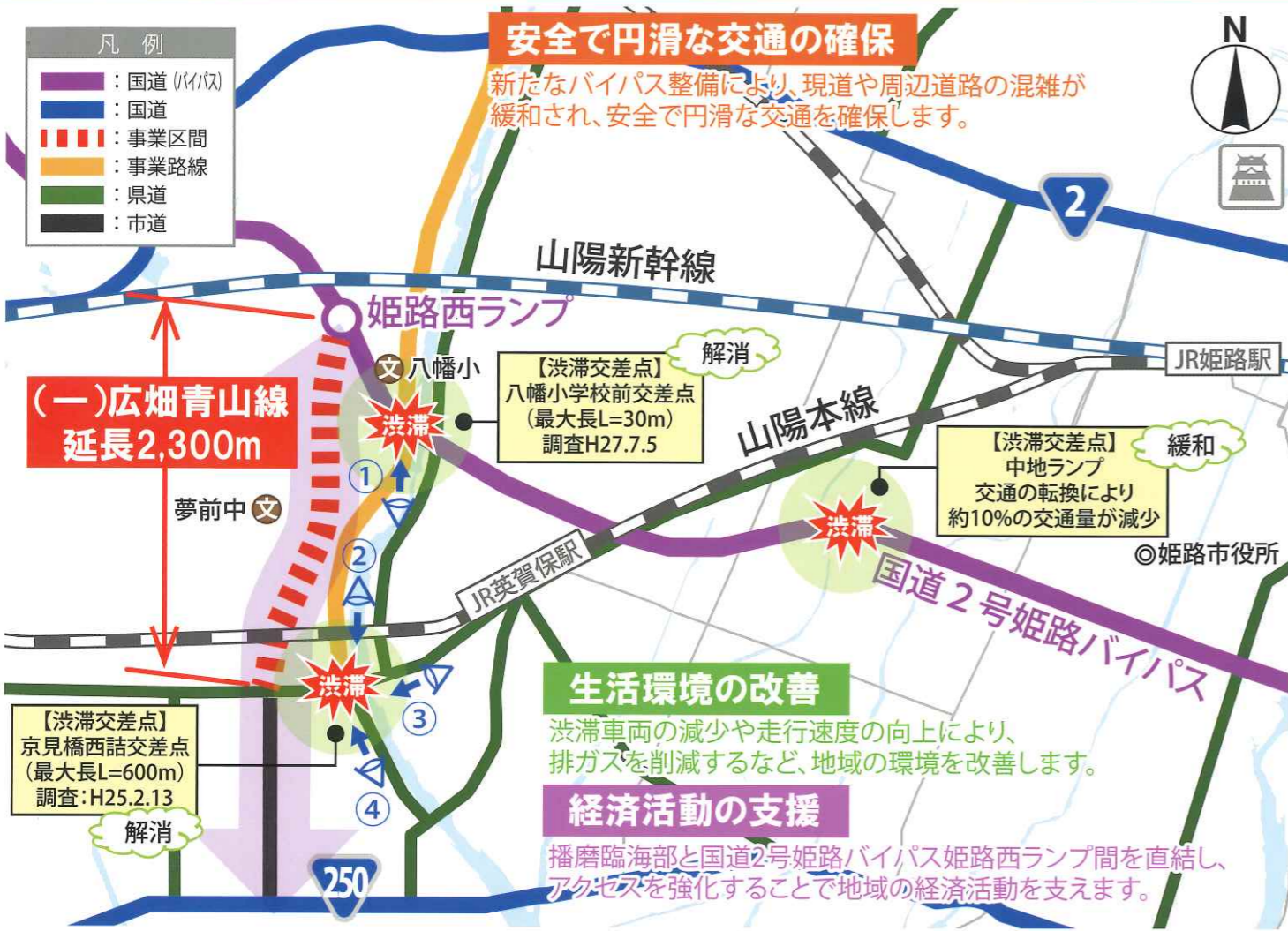


お問い合わせ先

 兵庫県姫路土木事務所

〒670-0947 姫路市北条 1-98
(代表電話 079-281-3001)

整備効果



未改良の生活道路を通行し、危険！



北進後に現道を南進し、大きく迂回！



姫路西ランプから直接南進することが可能となり、広畑方面へのアクセス性が格段に向上！



広畑青山線整備の特徴

自転車道の整備

兵庫県では、「自転車ネットワーク計画」に位置付けられた自転車ネットワーク路線、および中高生の自転車通学経路の安全対策を図るため「自転車通行空間整備5箇年計画」を策定し、重点的に対策を推進しています。

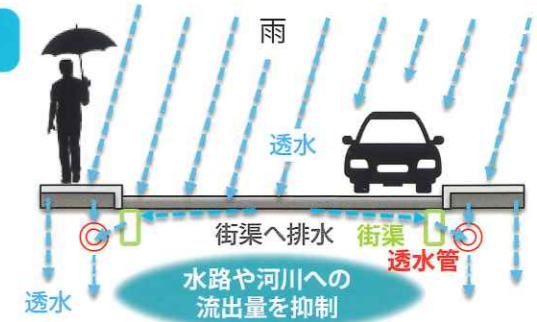
広畑青山線では、相互通行が可能な自転車道を設置し、ベンガラ色でカラー舗装を行う予定です。



イメージ

環境に優しい舗装

広畑青山線では、車道部は排水性舗装とし、交通による騒音を低減します。自転車道と歩道は透水性舗装とし、雨水を地下に涵養し、地域の環境改善に貢献します。これらの排水性舗装や透水性舗装により、水路や河川への流出量を抑制し、地域の水害対策を図っています。



管理費節減に向けた植栽の整備

中央分離帯等には、排ガス、乾燥、塩害に強いグランドカバー植物であるガゼニアンを採用しています。ガゼニアンの持つ雑草抑制効果、耐乾燥効果により、除草や、灌水作業にかかる維持管理費の低減が可能になります。

また、常緑性で1年を通じて開花することにより、地域の美観向上効果も期待できます。



イメージ

空気式遮断機

集中豪雨が頻発する中、道路と鉄道が交差するアンダーパス部では、誤進入による車両水没も発生していることから、姫路市内の県管理道路全てのアンダーパス部において、大雨時における通行の安全性を一層確保する空気式遮断器（エアバルーンで道路を物理的に封鎖する装置）を設置しています。

新しいバイパスのJR山陽本線交差点にも本設備を設置します。



現道部の設置状況

広畑青山線周辺の遺跡

広畑青山線整備に伴って、埋蔵文化財の発掘調査が行われました。広畑区には郷着遺跡と才村遺跡があります。郷着遺跡は今回の調査で初めて見つかった遺跡です。

郷着遺跡はなだらかに南へ伸びる沖積地であり、集落が立地する微高地と川跡や溝、水田が営まれた旧河道部分に広がっています。郷着遺跡・才村遺跡のいずれも弥生時代～古代・中世のものとみられる集落跡であり、溝や水田跡が発掘され、多数の土器が出土しています。



遺跡調査の航空写真

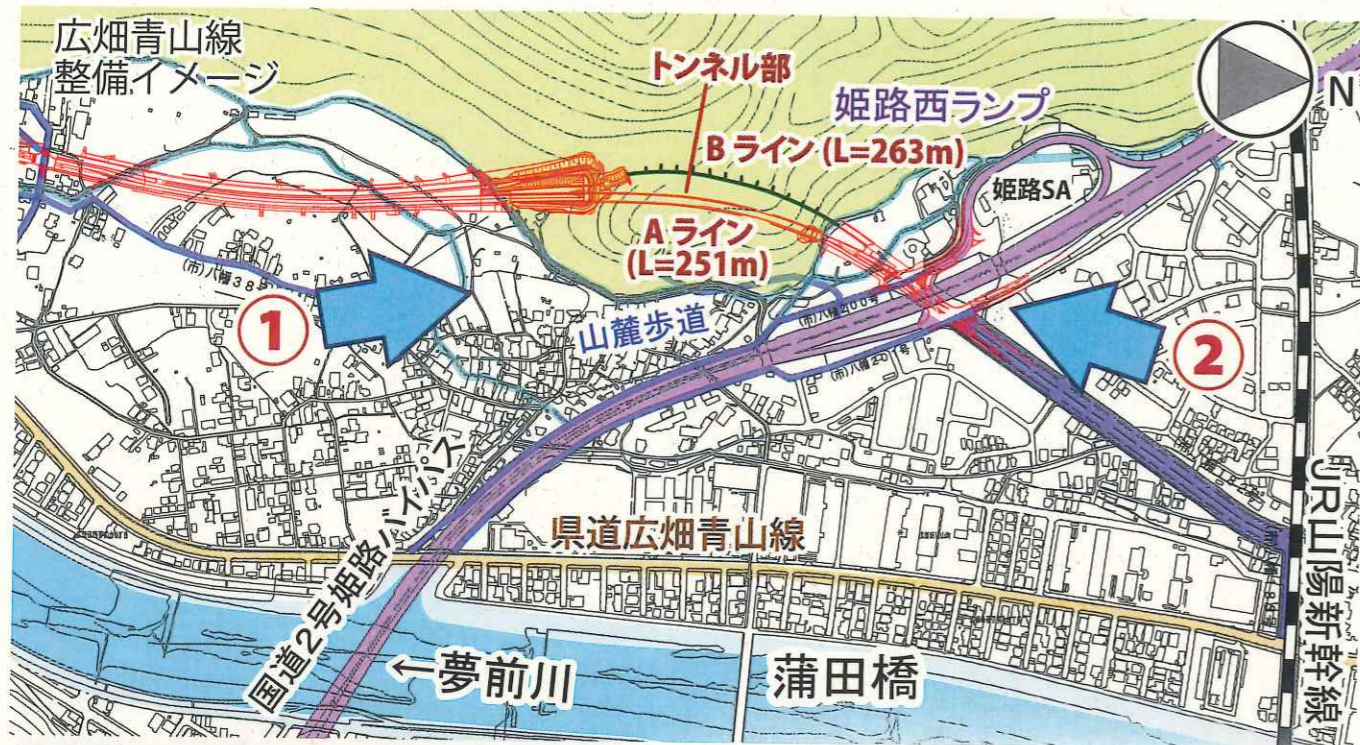
古墳時代の水田畦畔の痕跡

井戸の状況

兵庫県立考古博物館提供

俺天下山トンネル概要

俺天下山トンネルは、約 250～260mの山岳トンネル（NATM 工法）となります。令和7年度（予定）の供用開始時は東側のAラインが開通します。



俺天下山トンネル 名前の由来

播磨動乱の時代（室町～安土時代）に、山崎に本陣を置いた豊臣軍が反織田勢力の英賀城を包囲しました。天正8年2月10日から11日は終日攻防戦となり、双方で多数の死傷者を出し13日に英賀城は落城しました。同時に英賀城近隣の諸構も制圧されました。蒲田構のあった下野村の裏山からは、敗走する兵士、戦火の上がる英賀、中浜方面が良く見えました。その光景を見て「これからは、織田が天下だ」と確信し、豊臣軍は勝どきをあげました。

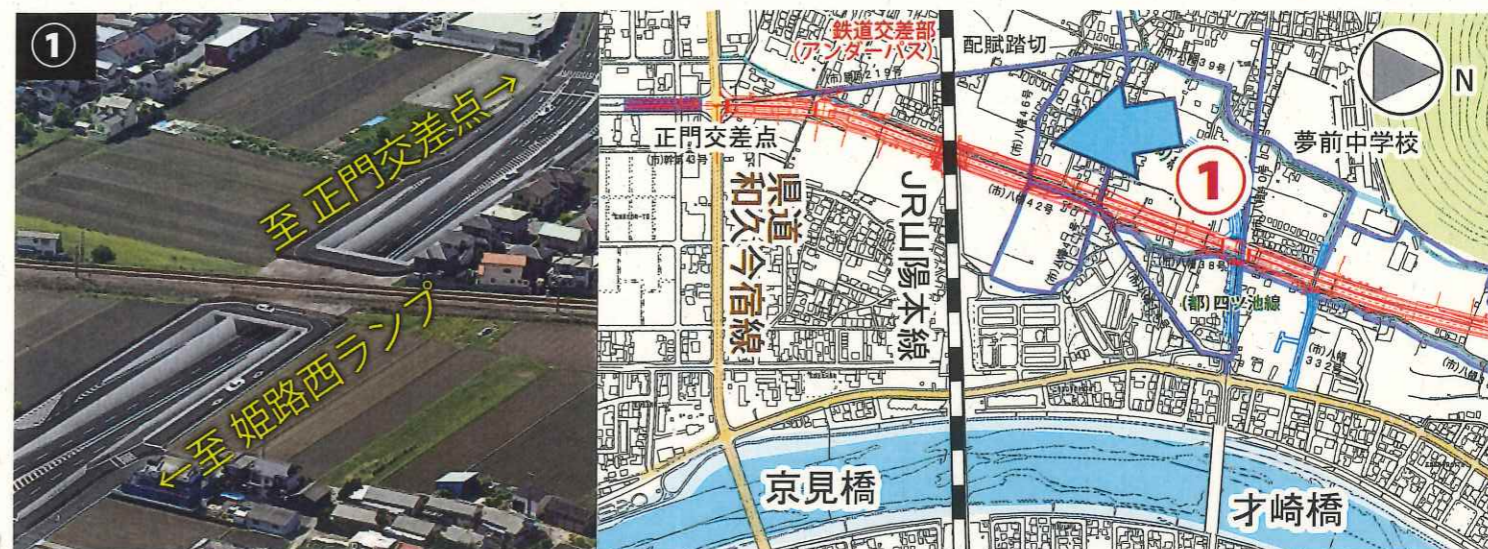
織田が天下をとり、天正10年に織田が逝去して秀吉の時代となりました。

いつごろからか、「織田が天下」が「おだか天下」に訛り、「おれが天下」に変わり八幡尋常小学校の子供たちが鍛錬のために岩山に登るようになってからは、「おれ天下やま」が「俺天下山」と口伝えされてきました。



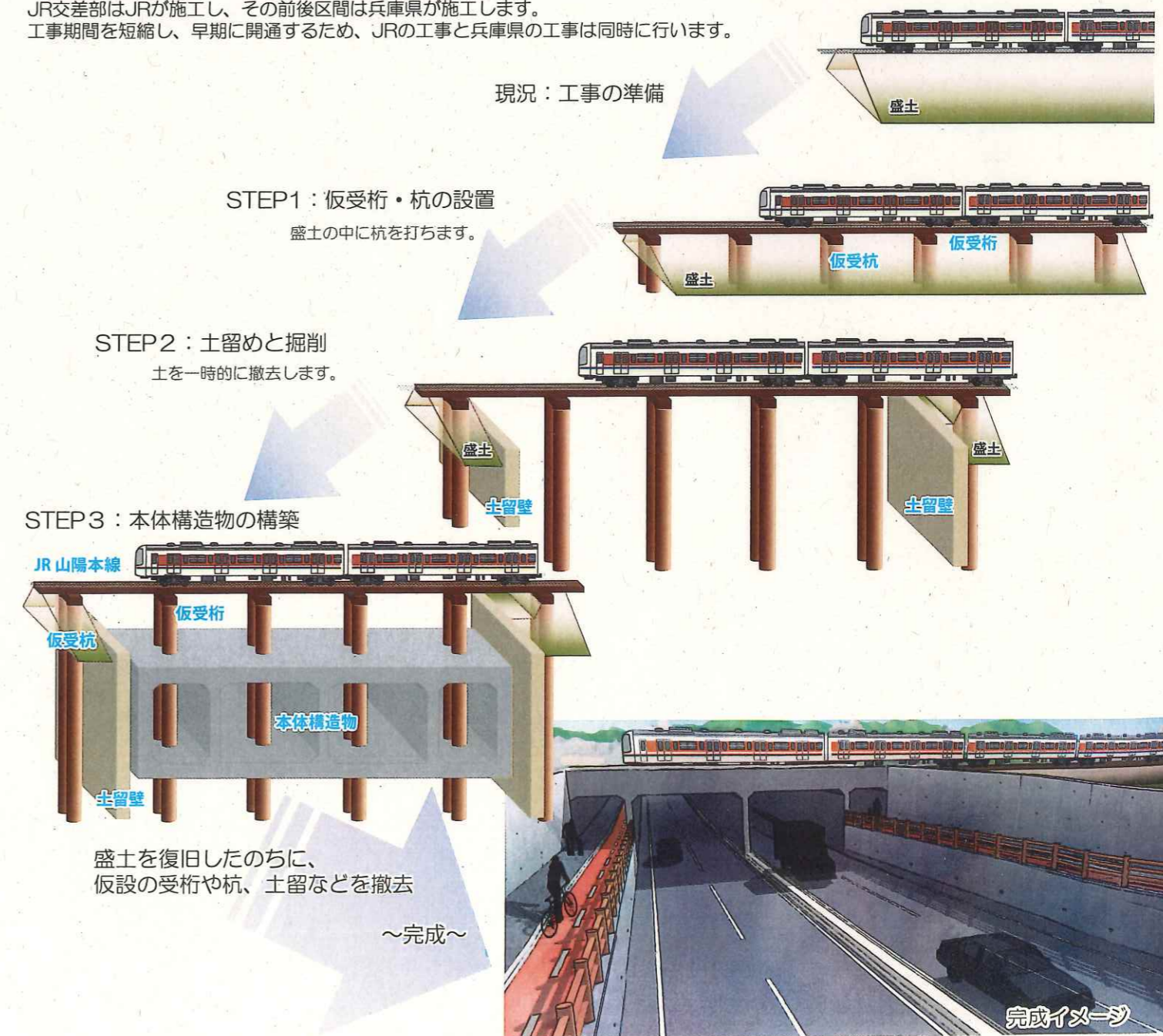
鉄道交差部概要

JR山陽本線と交差する約300mの区間が立体交差区間として、アンダーパスとなります。



JR山陽本線との交差部の施工

JR交差部はJRが施工し、その前後区間は兵庫県が施工します。工事期間を短縮し、早期に開通するため、JRの工事と兵庫県の工事は同時に行います。



一般県道広畑青山線 (バイパス) 延長2.3km 幅28m



(令和7年度 暫定2車線供用予定)

4車線供用 | 2車線供用



道路規格

- 【延長】 2.3km
- 【構造規格】 第4種第1級
- 【設計速度】 60km/h
- 【計画交通量】 暫定整備時：14,800台/日
完成整備時：37,800台/日

